

神奈川県立神奈川総合高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和6年度 神奈川総合高等学校 第1回 学校運営協議会
開催日時	令和6年7月22日 13時5分から 14時35分 授業見学 ※別添資料参照 14時45分から 15時45分 運営協議会
開催場所	本校 応接室（授業見学）各学習室等
出席者	江成 篤在子 神奈川区総務部地域振興課長 加藤 智恵 テンプル大学副学長 久保野 雅史 神奈川大学外国語学部英語英文学科教授 篠原 香織 PTA(パートナーズ)会長 八田 直昭 神奈川総合高等学校長
会議資料	資料冊子／令和6年度学校案内／令和5年度研究紀要 グローバル教育研究推進事業記録集 テーマ研究Ⅱ2023/PTA広報誌「ざくばらんvol.86,87」
議事録	<p>1 校長挨拶 2 出席者紹介(名簿参照) 3 議題 (1) 会長選出 ・加藤委員の続投が決定 (2) 令和6年度学校運営協議会運営計画について ・年に3回の予定 ・活動報告をもとに今後の改善をしていく ・学校評価部会がメイン (3) 学校概要について ・今年で設立30年、来年周年記念事業を実施する ・令和3年度から舞台芸術科が新設され、いずれは普通科との融合を考えている ・県下屈指の人気校であり、入試の倍率が高い ・卒業生の多くが大学進学をしている (4) 令和5年度学校評価報告書(実施結果)について ・4年ごとに作成、細かいものは毎年作成 ・舞台芸術科の1期生が卒業して進路の傾向が少しづつ変わった (5) 令和6年度学校評価報告書(目標設定)について (6) 令和6年度教育計画について 以下、委員から学校に関する質疑、各グループより応答 [学校生活G] ○生徒の様子はどうなつか。 →教育相談の件数が増加傾向にある 自分のことはやるが、まわりが何をしているかわからないこともありますので部活などと連携し、こまめに表彰等をすることで全体周知できるようにしたい さらにHPを活用して様々なことを発信していく OHPIに在校生のコメントを載せないのか。 →テーマ研究でそれを実施した生徒がいて、有効だった。今後もそうする ○防災で他校や地域と連携があるが、今年も実施の方向で進んでいるのか。 →10月で実施できるよう調整済。神奈川工業、ニッカ小学校、近隣住民との連携になる。 [研究開発・国際交流G] ○テーマとは、具体的にいつ、どのような授業をしているのか。 →1年次から順にテーマ学習、テーマ研究Ⅰ、テーマ研究Ⅱがある。生徒は1年次で様々な分野のものに触れ、話を聞くことで自分の興味関心がどこにあるのかを把握する。そして2年次では本格的に自分が研究したいものを決め調査等をする。最後に3年次で論文を作り、プレゼンする。さらにP校やワールドカフェなどの行事もあるのでそこでも視野を広げられるようになっている。 [進路支援G] ○進路行事は何があるのか。 →企業の方を呼んで講演会、進路支援Gによる進路説明会を在校生、保護者それぞれに向けて開催、卒業生を呼んで話してもらう ○進路が決まっていない生徒はどうしているのか。 →授業やテーマで関心のあるものは何かを考えさせる。さらに企業が実施しているアンケートも使いながら自分は何に向いているのかも考えさせる。そして1年次からオープンキャンパス等に参加するように指導している。しかし年次ごとに温度差を感じる場面があり、マンパワーに頼る部分があるので今後はそれを改善できるようにしていきたい。 ○カレッジフェアのようなものはないのか。 →以前は実施していたが、進路は生徒本人の意志が大事なので今は実施していない ○国公立大学、私立大学の進学率や合格率の目標はあるのか。 →ない、生徒が自分の意志で決定するのが大事 [カリキュラム管理G] ○生徒は高校に入学し、いわゆる“自由”を手に入れるが、学校として新入生にケアはしているのか。 →学校説明会、合格者説明会で学校生活や履修計画について何度も説明しているので理解した状態で生徒は入学している。もし何かあっても相談できるようになっている。 ○不登校生徒についてどのような対応をしているのか →HRが週に1回なので毎日生徒の様子は見られないが、授業の欠課時数が一定の回数を超えてくると保護者へ連絡しつづいたりといった状況なのか把握している。 </p>